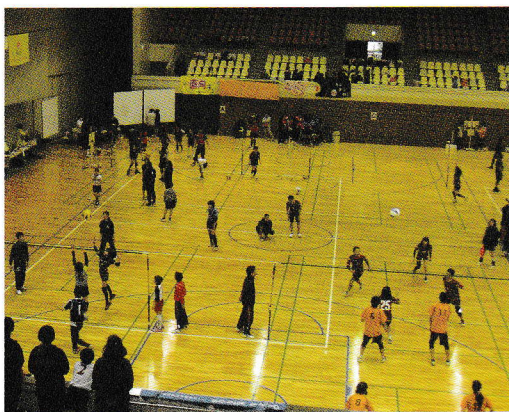


青少年育成事業と ソフトバレーボール

福岡博多東LC L 松尾 剛



福岡博多東ライオンズクラブでは、結成30周年事業の一環として、ソフトバレーボール大会を主催してまいりました。

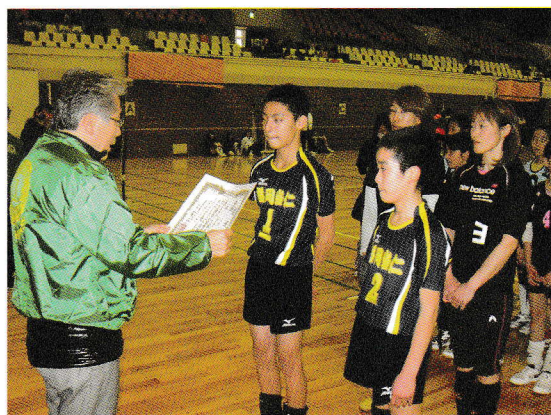
ソフトバレーボールは1968年日本バレーボール協会が競技規則を制定して始められたニュースポーツです。

「いつでも、どこでも、だれとでも」をテーマとして、6人制、9人制バレーボールのそれ

ぞれの特徴を活かし、バレーボールの素晴らしさに触れ、バレーボールそのものを独立した競技として楽しむことのできるスポーツです。

このスポーツの特徴は、ボールをソフト化することによりバレーボールの基礎技術であるパスが容易で安全に行うことができること、既存の設置用具（バトミントンコート、支柱、ネットなど）の活用で、手軽に競技できること、また「とつきやすいが飽きてしまう」という軽スポーツの短所を改善し、男女別、年齢、体力、経験、技術レベルに応じて初歩的なゲームから複雑な応用技術、各種作戦、戦術を駆使して高度なゲームまで、多様な楽しみ方ができ奥深い生涯スポーツとしての特徴をもっています。

従って、このような目的で考



案されたソフトバレーボールは、小学生から高齢者まで、全国的に最も盛んに行われているニュースポーツです。

このスポーツは小学生から高齢者まで手軽に参加でき、4人でチームを作りネットを挟んで攻防を繰り返すそのラリーに勝ったチームが得点する方法で勝敗を決定するバレーボールと同じスポーツです。

チームの4人の組み合わせは色々な形が出来るが、小学生では低学年、高学年でチームを作ったり、ファミリークラスでは、小学生2人と両親、祖父

母2人の4人チームを作るといふ他のスポーツに例の無い特徴を持ったチーム構成のものもあります。

家庭の中で子供と親が同じ話題を持つことにより常にコミュニケーションをとることができるといふ絶好の手段となつています。

今では小学校の体育の必須科目にも取り入れられており、当ライオンズクラブでは青少年育成事業の一環と位置づけし、この事業を継続事業として主催、運営していくことといたします。

